

## 延命寺様の本堂・位牌堂・書院が完成

浜松市北区三ヶ日町



落慶法要の様子

五月二十九日に延命寺様（曹洞宗）では本堂・位牌堂・書院の落慶法要が行われました。約二百年前に建てられた本堂・位牌堂が老朽化したため、約二十年前から本堂を新築したかどうかと総代さんから話がでるようになりまして。そして檀家さんにあまり負担をかけずに建設したいとの思いから、時間かけて計画を進めてきました。しかし平成二六年四月一日に消費税が5%から8%

に上がることが決定したため、この時を逃がしたら計画が流れてしまうと思い本堂の建設を決定しました。

弊社の社長は延命寺様のご住職とは二十年以上前から、照自会などの懇親会の席で親しくお付き合いさせていただいております。そして本堂新築計画があるとお話をいただき、是非にということでご合見積りに参加させていただいた次第です。ご住職のお力添えもあり弊社に決定したと知らせを聞いた時には、とても嬉しかったことを今でも忘れることはできません。延命寺のご住職は弊社の提案した内容と金額ならば、檀家の皆さんにも納得したものを建ててくれると思ったとのことです。

新しい本堂は以前の本堂より少し大きくなり、間口七間・奥行六間半の約46坪で、単層向拝付千鳥破風入母屋造りです。大間は畳敷きですが、他は位牌堂も含めてジュータン敷きにして椅子に座るようにしたので、足の悪い方でも気軽にお参りができるようにになりました。

また以前は書院がなかったもので何かと不便でしたが、これからは檀家さんの集まり

や、これからの少子高齢化にそなえた家族葬等の小規模な葬儀に対応ができるようになりました。

そして前号でもお伝えしましたが、須弥壇も弊社としては初めて製作させていただきました。須弥壇は今では仏具屋が作っていますが、元々は宮大工が作っていたようです。

建物と共に須弥壇も檀家の皆様に長く愛されることは弊社としてもとても嬉しいことで、今後とも延命寺様とは長く良いお付き合いができるように努力いたします。



## 秋祭りに向けて

昨年の六月に隣からのもらい火で焼失した磐田市栄町の屋台の彫刻を、澤元彫刻の彫り師・清延さんが製作に励んでいます。写真は荒彫りをしている鬼板です。鬼板とは屋台の屋根の上に取り付けられる、家でいえば鬼瓦のようなものです。神功皇后が赤ん坊の応神天皇を抱いており、傍らに武内宿禰が控えている様子を表しています。

ゲ魚（鬼板の下につく）は秋葉三尺坊大権現が白い狐に乗っている姿を描いています。この秋葉三尺坊大権現は火除けの神様なので、二度と火災に遭わないようにという栄町の人々の願いがこもっているのではないのでしょうか。

この彫刻の題材は栄町の方からのリクエストで、下絵は清延さんの奥さんで仏師の陽子さんがすべて担当しました。下絵のよし悪しが出来栄えを左

右するといっても過言ではないので、何度も打ち合わせを行い下絵を完成させました。栄町のみなさんも彫刻ができていくのが楽しみらしく、時々工房を訪れて見学していきます。昨年は屋台を引くことができなかつたので、今年の府八幡宮の祭典が今からとても待ち遠しいようです。



## 本堂に床下エアコン

三重県亀山市の真善寺様の既存の本堂へエアコンを設置しました。ご住職は近年の夏の暑さが厳しく、檀信徒のかたがたが快適に法要を執り行うことができるように設置を検討していました。地元の業者へ相談を持ち掛けましたが、無理だと言われてあきらめかけていた、そんな時に弊社で建築中の光福寺様の、床下のエアコン工事を見て依頼していただきま



吹き出し口も木製です。

設置方法は本堂の床下に本

体を置き、ダクトを配管して床の数か所の吹き出し口より送風します。床よりの吹き出しのため、本堂の雰囲気や壊すことなく、違和感もなく納めることができそうです。そして既存の内部や畳を生かし綺麗に仕上げることができました。

設置後に試運転しましたが、床下に本体が収納されてしまいうのでかなり静かでした。壁掛けタイプのエアコンより静かで、冷房の効きがよくご住職も大変満足そうでした。本堂にもエアコンが欲しいと考えている、ご寺院は是非一度検討してみてもどうでしょうか？相談・見積もりは無料ですのでお気軽にお問い合わせください。



室外機取付の様子

## 「納骨堂」

日本テンブルヴァン(榊井上拓郎)

### 「納骨堂に課税判決」

七月に入りますと、お盆やお施餓鬼の準備で、お忙しい時期かと思いますが、いかがお過ごしでしょうか？関東では、六月の下旬ごろから、七月のお盆の準備等で「塔婆を書かなければ」と、忙しそうにされている方を良く見かけます。七月に入ってしまうと、組寺の施餓鬼法要のお手伝いなどで、バタバタとされるからでしょうか？さて前号（五月号の心ゆたかに）の「納骨堂も課税？」の中で、都内の納骨堂に固定資産税の課税処分がなされた事例を取り上げましたが、五月二四日の東京地裁の課税処分に対する判決に對しまして、控訴期間内（二週間）に、寺院側が控訴しなかつた為、一審判決が確定致しました。この判決により、寺院側は約400万円もの固定資産税等を納付しなければなりません。この判決が他の納骨堂を運営しているご寺院に、今後少なからず影響を及ぼす事は、容易に想像できます。

資産税を免除される要件の一つに、地方税法三四八条二項三号で非課税と規定される「宗教法人が専らその本来の用に供する施設である事」が前提となります。つまりは、その寺院の宗派の教義に基づき活動が行なわれている施設かどうかを判断した結果、宗派を問わず受け入れている納骨堂は、専ら宗教団体としての主たる目的から逸脱していると判断された可能性が大いにあります。今回の課税処分を受けた都内の納骨堂も、相当数宗派問わずの形で納骨をしていた様ですから、同宗派の檀信徒と他の宗派の比率を鑑みて判断をしたのだと思います。課税されない要件として「納骨するすべてが同宗派の檀信徒でなければならぬ」とは考えられませんが、どの程度の比率であれば非課税なのか？を当局が公表する事はまずないでしょう。今後の課税の状況によって、具体的に課税される要件が明らかになってくると思います。しかし埋葬や納骨といった、宗教法人に許された宗教活動に對して、課税されたと言っても過言ではないと思います。もともと埋葬される墓地に關しては、地方税法88条二項四号で非課税と規定されておりしますので、一般的な寺院境内墓地においては、固定資産税が課税されることは無いと思われれます。

ただ最近では、境内で檀家墓地とは区画を別けて、宗派問わず墓地を分譲する運営方法のご寺院もあることを考えますと、一概に非課税とは言えないかも知れません。

### 「納骨と信教の自由」

ペットの納骨堂に課税判決(固定資産税等)が下りた事例は過去にありましたが、人の遺骨を納骨する納骨堂に固定資産税を課税されるといった事例は、恐らく私が記憶する限りは無かつた事だと思えます。今回、課税された要因として、宗派問わず受け入れていたという事実がありますが、そもそも墓地においては、異教徒(他宗派)の埋葬をその事実(他宗を信仰している)だけで断ることは出来ません。これは憲法二〇条で「信教の自由」が保障されているからです。今回の宗派問わずの納骨堂が課税されるのであれば、当局の課税判断は、宗教法人の公益性、及び信教の自由の観点から、矛盾が生じているような気が致します。ちなみに、異教徒の埋葬を他宗派だからという理由だけで断ることは出来ませんが、寺院側は境内墓地において、その寺院(宗派)の典礼に則って埋葬する権利(典礼権)を主張することが出来ます。

## 知って得する ハイブリッド野菜

ハイブリッド野菜という言葉聞いたことがありますか？ハイブリッド野菜とは二種類の野菜を掛け合わせて新たに作り出された野菜で、生産性、栄養価、病気や害虫に強いなどの長所を持っています。一般的に接ぎ木という方法で栽培されています。イギリスで実際に販売している苗Tomatoはフルーツトマトとじゃがいもを接ぎ木したもので、一本の苗で糖度の高いトマトと大ぶりなじゃがいもができるそうです。

このように一つの苗から二つの野菜ができるものもありますが、今回は交配によって栄養価や味の面でも優れた品種になったものをハイブリッド野菜のひとつとして紹介します。

すでにスーパーなどで見かけて知っている方も多いと思いますが、スティック・セニョールはブロッコリーと中国野菜の芥藍（カイラン）を掛け合わせたもので、茎まで柔らかく食べられる野菜です。実はもともと日本で開発された品種でしたが、国内市場では人気がなく、輸出したアメリカで人気だったので日本に逆輸入されたそうです。ビタミンが豊富で栄養価が高い上に、

サラダ・スープ・炒め物などの調理の用途が広くおいしく食べることができます。通年出荷していますが、出盛りは秋から初冬あたりになります。

そしてプチヴェールもよく見かけるようになりましたが、これはアブラナ科の野菜で静岡県の（株）増田採取場がケールとキャベツの交配によって開発した世界初の非結球芽キャベツです。プチヴェールとはフランス語で小さな緑という意味で、糖度が一〜一三度にもなり、食べた時に甘味を感じますが、その糖度は一般的なみかんと苺と同じ位の数値です。甘みがあるので野菜嫌いの方や子供にもおいしく食べてもらえそうです。また、カロリーを非常に多く含んでおりかぼちの約三倍以上で、ビタミンCは野菜や果物の中でもトップクラスです。ケールの倍以上のビタミンCが含まれています。そしてカリウムをはじめミネラルも豊富でカルシウムや鉄分もふんだん含まれています。調理方法はサラダ・白和え・胡麻和えやパスタなどの炒め物にも幅広く使うことができとても使いやすい野菜のようです。

他にも白菜とキャベツをかけたハク

ラン・チンゲン菜と小松菜をかけたべんり菜・キャベツと小松菜をかけたセンプウ菜などというものがあります。実をいうと私はスティックセニョールとプチヴェールをお店で見てどんな野菜なのかな？どんな料理に使ったらいいの？と思いついて、一度も買ったことはありませんでしたが、今度は是非買ってみようと思っています。



プチヴェール（左） スティックセニョール（右）